

見えない世界 伝えたい

生き抜く



TBSラジオのポッドキャスト番組で話す石井。途切れることなく多彩な話題でゲストとの会話が弾む＝東京都港区

助け求めて新たな気づき

フラインド・コミュニケーター 石井 健介さん(44)

「白杖は魔法のつえです」。視覚障害者の石井健介(44)は、自身がパーソナリティのTBSラジオ・ポッドキャスト番組の自己紹介で、そう話した。「つえを持っていて、いろんな人が声をかけてくれて、優しさを分けてくれる」。番組名は見えないわたしの「聞こえてく」ラジオ。毎回のゲストに「耳に見えないもの」を持参してもらって会話が進む。盲だけで情報を伝えるラジオは視覚障害者に身近な存在だ。「見えないからこそリスナー目線で伝えられる。ラジオ

の原点に戻る」。そう考える番組担当者、橋本吉史(44)からの依頼で引き受けた。

その日は突然やってきた。アパレル関係の仕事をしてきた2016年4月、36歳の時だ。朝起きると目が見えなくなっていた。横に寝ていた当時3歳の長女、伶依(11)の顔が分からない。パニックになる。看護師の妻朋美(44)は冷静だ。「落ち着いて座って。眼科に予約入れたから」。わずかに

新しいパパができる。そんなことばかり考えた。深々海の底にいた。心配してくれる同室の患者がいた。「話そう」「コーヒ、飲む?」。何度か声をかけられたが、そのたびに断った。でもある日「コーヒが飲みたい」と言ってきた。

大量廃棄を繰り返すアパレル業界に疑問を感じ、持続可能な商品を手がけようと独立してまだ数年。病室で泣き続けた。父親の義務を果たせるのか。自分が死ぬば妻が再婚して子どもに

「ヒーを飲んだことはない」。優しさを拒絶せずに受け取る、喜んでくれる人がいるのだと知った。

見舞いに来た鍼灸師の友人にも救われた。それまで大丈夫「乗り越えられない試練はない」と多くの励ましを受けたが、素直に受け止められなかった。でも彼はいつもと変わらぬ調子で「こんなことになつてかわいそうだね」。哀れんでいるのではない。自分の身になって共感してくれただけがありがたかった。

娘の伶依は、いつまでも不機嫌な石井の顔と比べるように、壁に飾った笑顔の絵を指さして「こんなパパがいい」と母親に訴えた。「これではいけない」。何が大切なのか考え抜いた「家族を愛することなら目が見えなくてもできる」。

気持ち切り替わっていく。「見えないうちで面白くないかな」「見えないかな」。視覚障害者が働ける企業で社会復帰。数年後自分なりのやり方で「見えないことを伝える仕事」を始める。肩書は「フラインド・コミュニ

石井健介の年表

2012年8月	長女伶依が誕生 アパレル関係の仕事を経て独立
16年1月	長男宇依が誕生
4月	突然目が見えなくなる
18年	視覚障害者として企業に就職(3年後に退職)
22年	フラインド・コミュニケーターとして活動開始
23年	ラジオ番組のパーソナリティに

(敬称略)



白杖を手に目隠して段ボールの障害物を避けながらゴールを目指す「ノールック迷路」。石井が仲間と考案した。説明を聞く子どもたちは興味津々＝鶴岡市のキッズドームソライ(写真を一部加工)

「分かった」。明るい声がしたかと思うと、すぐに不自由な体で車椅子を走らせ買いに行ってきた。手渡されたアイスコーヒを飲みながら涙があふれた。「こんなに温かいアイスコ

講演では感じたことをありのまま伝える。例えば長い複雑な地下道を通る時は「真っ暗な中で地図を一つ一つ開けていく感覚。点字ブロックはもともと、街中の音の音楽にも神経を研ぎ澄ます。道を教えてくれるなら「何時の方向で」という説明が分かりやすい。

舞台手話通訳をテーマにしたドキュメンタリー映画にも出演した。

遊びを通して、子どもたちに「見えない世界」を知ってもらう活動にも力を入れている。昨年12月、鶴岡市の児童教育施設「キッズドームソライ」で開いたワークショップ「ノールック迷路」。2グループに分かれ、目隠しをした子どもが同じチームのメンバーの声に導かれて目的の地に早く早くを競う。もつと右「次は左」「後ろに下がって」。子どもたちの応援がなかった。

今も目覚めたとき「夢で鮮やかに見えていた世界が見えない一現実がにがにとすることがある。暗い方に引く張られそう自分を引き戻してくれるのは自分たちだ。幾つになっても手をつなぐ。長男の宇依(8)に「パパを守っているの」と聞く「そうだよ」と返ってきた。

外出時の安心 一番は人

パソコンやスマートフォンで、音声読み上げ機能の向上で、視覚障害者を取り巻く環境は様変わりした。スマホのカメラで前方を写し、音声で歩行を支援するナビゲーションシステムも登場した。新機能を使いこなす人が増える一方で、使い方が分からず取り残される人もいる。日本視覚障害者団体連合による「と店舗や券売機、銀行のATMのタッチパネルが普及している。Mの不足が課題」としている。

県からののお知らせ

※各記事の詳しい内容は画にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



広報課ホームページ

宮城県 県からのお知らせ 検索

令和6年度宮城県警察官採用試験

●職種/①警察官A(大卒・大卒見込み) 男性一般・女性一般(年2回実施)
②警察官B(大卒以外)男性一般・女性一般
●試験日/①第1回:5月12日(日)
②第2回および③:9月中旬～下旬
④第1回(金)
⑤第2回および③:7月下旬～8月下旬
●申し込み/電子申請または申込書を郵送(当日消印有効)
●採用予定人員やその他の職種は3月上旬に発表予定です。
●警察本部警務課 ☎ (0120)204606

みやぎゼロカーボンチャレンジSNSキャンペーン実施中

「ゼロカーボン社会の実現」に向けて、日々の暮らしの中で気軽に参加できるキャンペーンを開催しています。宮城ならではのすぐりの商品などが当たりますので、ぜひご応募ください。
●応募要件/①公式X(旧Twitter)のフォロー＆キャンペーン投稿をリポスト
②公式Instagramのフォロー＆「#みやぎエコチャレンジ」をつけて食に関するエコな取り組みを投稿
●応募期限/2月14日(水)まで
●当選対象者/県内在住の方
●環境政策課 ☎ 022(211)2661

みやぎ食の安全安心消費者モニター募集

●活動内容/アンケートへの協力、希望により研修会や食品工場見学会などへの参加
●対象/県内在住の満18歳以上で、無償で活動可能な方
●申し込み/ホームページから電子申請、または申込書を郵送、ファクシミリ、Eメールにより下記へ(申込書は下記で配布、またはホームページからダウンロード)
●食と暮らしの安全推進課 ☎ 980-8570(所在地記載不要) ☎ 022(211)2643 FAX 022(211)2698 Eメール syokua@pref.miyagi.lg.jp

みやぎ食の安全安心取組宣言者募集

●活動内容/衛生管理、適正表示、感染対策などに自主基準を定めて取り組んでいることを「むすびろく」マークや「感染対策取組店」の店頭掲示などでPR
●対象/県内の食品関連事業者・生産者
●申し込み/ホームページから電子申請、または申込書を郵送、ファクシミリ、Eメールにより下記へ(申請書は下記で配布、またはホームページからダウンロード)
●食と暮らしの安全推進課 ☎ 980-8570(所在地記載不要) ☎ 022(211)2643 FAX 022(211)2698 Eメール syokua@pref.miyagi.lg.jp

聴覚障害者の交流サロン「みみサポおしゃべりサロン」

聞こえない、聞こえにくい方が安心して参加できる交流サロンを開催します。みみサポみやぎは開所してから9年が経過し、4月に移転する予定です。これまでの思い出をみんなで語り合いませんか(手話通訳・要約筆記付き)。
●日時/2月29日(木)午後1時～3時
●場所/宮城県聴覚障害者情報センター
●費用/申し込み/無料・不要
●宮城県聴覚障害者情報センター ☎ 022(393)5501 FAX 022(393)5502 Eメール info@mimisuppo-miyagi.org

保育のおしごと相談会

●対象/保育士資格をお持ちの方や資格取得を目指している方(保育士としての就労を希望している方)
●内容/専門のコーディネーターによる①セミナーの個別相談
②日時/2月29日(木)午後1時～3時
③場所/宮城県子育て支援センター
④申し込み/開催日の前日まで下記センターへ
●宮城県保育士・保育所支援センター ☎ 022(223)5771 ☎ 022(211)2529

宮城県不妊検査費助成事業のご案内

県は、不妊検査に係る費用の一部を助成しています。
●対象/対象期間内に夫婦ともに不妊検査を受けた方で、検査開始日の妻の年齢が43歳未満の場合
●助成額/上限2万円
●助成回数/夫婦1組につき1回限り
●対象期間/令和5年度～令和6年度(令和6年度は令和5年度に限り)
●子ども・家庭支援課 ☎ 022(211)2633

助産師による妊産婦電話相談

県は、妊娠・出産・産後の生活などに不安を抱える妊産婦の皆さんの相談に応じるため、助産師による電話相談を行っています。
●相談電話 ☎ 090(1060)2232
●受付時間/毎週月・水・金曜午後1時～7時(いずれも祝日・年末年始を除く)
●子ども・家庭支援課 ☎ 022(211)2633

夜間・休日の急な体調不良の相談は「#7119」へ

夜間や休日の急な病気やけがで、「救急車を呼ぶべきか」「すぐに病院へ行った方がよいのか」などと迷ったときは、「#7119」に電話してください。
相談員がアドバイスを行うほか、受診の必要性や医療機関をご案内します。
●対象/満15歳以上の県内在住の方
●電話相談 ☎ #7119(プッシュ回線) ☎ 022(706)7119(プッシュ回線以外)
●受付時間/①月曜～金曜午後7時～翌午前8時 ②土曜午後2時～翌午前8時 ③日曜・祝日午前8時～翌午前8時(24時間) ④医療政策課 ☎ 022(211)2622

宮城県立高等技術専門学校 令和6年度入校生一般選考三次募集

●対象/高等学校卒業生など(卒業見込みの方を含む)
●募集人数/各科1～10人程度
●募集人数は訓練科によって異なります
●訓練科名/ホームページに掲載
●訓練期間/1年または2年
●申し込み/2月21日(水)～3月6日(水)に各高等技術専門学校へ(求職中の方は、お住まいの地域を担当するハローワークへ)
●産業人材対策課 ☎ 022(211)2762

宮城障害者職業能力開発校 令和6年度前期訓練生募集

●科名/①パソコン基礎科の職域開発科
●内容/①事務補助 ②事務補助、物流に関わる技能の習得
●対象/定員/①身体障害者手帳(視覚障害)所持者・5人
②精神障害者保健福祉手帳所持者・10人
●選考日/①3月21日(木)②3月18日(月)
●訓練期間/いずれも4月11日(木)～9月20日(金)
●申し込み/いずれも3月1日(金)までに所轄のハローワークへ
●宮城障害者職業能力開発校 ☎ 022(233)3124

灯油の流出事故にご注意ください

冬季は、ホームタングのバルブの閉め忘れや灯油を移し替える際に目を離すなどの不注意により、河川への灯油の流出事故が増加しています。
灯油の流出は、河川の水環境を汚染するほか、火災の原因にもなります。その回収

や処理にかかった費用は、原因者の負担となります。
灯油類が流出した場合は、速やかに県土木事務所、市町村または最寄りの消防署に連絡してください。
●河川課 ☎ 022(211)3172

道路美化ボランティア募集

県が管理する道路の美化活動を推進するために実施している「みやぎスマイルロード・プログラム」への参加者を募集しています。
県は、活動に参加される皆さんに対して、傷害保険への加入や活動に必要な物品の支給などの支援を行っています。
皆さんのご参加をお待ちしています。
●対象/個人、企業、NPO、任意団体など
●道路課 ☎ 022(211)3152

遺児等サポート奨学金

保護者を亡くした児童生徒の将来の進路選択を支援するため、返済不要の奨学金を給付しています。
●対象/東日本大震災以外の全ての要因により保護者を亡くした県内の小・中学生
●奨学金の種類/①月額金:1万円
②一時金:小学校卒業時15万円、中学校卒業時20万円
●給付時期/原則申請月の翌月から
●申請期間/①月額金は随時②新規一時金は1月から5月まで
●教育庁総務課 ☎ 022(211)3613

仙台塩釜港港湾脱炭素化推進計画(案)に関する意見募集

●募集期間/2月8日(木)～3月8日(金)
●資料公表場所/ホームページほか

●提出方法/3月8日(金)までに郵送(当日消印有効)、ファクシミリ、Eメールにより氏名・電話番号・住所を下記へ
●港湾課 ☎ 980-8570(所在地記載不要) ☎ 022(211)3214 FAX 022(211)3296 Eメール kowanp@pref.miyagi.lg.jp

ダムのネーミングライツ(命名権) スポンサー企業の募集

●対象施設/南川ダム(大和町)、櫛水ダム(名取市)、七北田ダム(仙台市)、宮城ダム(大和町)、惣の関ダム(利府町)、漆沢ダム(加美町)、上大沢ダム(大崎市)、花山ダム(栗原市)、弘川ダム(南三陸町)
●命名権/年間30万円以上(税別)
●特典/ダムの愛称を使用した看板の設置(ダム入り口など)、周辺道路案内看板による愛称の表示など
ネーミングライツ料は、地域の復興支援にも寄与します。詳しくは「宮城 ダムネーミングライツ」で検索してください。
●河川課 ☎ 022(211)3172

インターネット閲覧中の特殊詐欺にご注意ください

固定電話機以外の携帯電話機やパソコンなどの通信機器も、特殊詐欺被害につながる入口となっています。
インターネットを閲覧中に突然警告音が鳴って警告画面が表示され、連絡を求められることがあります。連絡すると、ウイルス除去やサポートが必要と説明され、その支払いを求められます。これは「架空金請求詐欺」という特殊詐欺の手口です。
警告画面に表示された連絡先には絶対に連絡せず、家族や警察にご相談ください。
●警察本部生活安全企画課 ☎ 022(221)7171(代表)

河北 Books

あなたの
まちの
取り組みは?

みやぎ防災ガイド 2024

読んで、学んで、備えよう!

好評
発売中!

定価
770円

全35市町村の防災・減災施策

▶ 宮城の防災・減災学習施設 震災を学ぶ
▶ 仙台市防災・減災アドバイザーに学ぶ
▶ ハザードマップの活用&マイタイムラインの作り方

お求めは、書店、河北新報販売店、または河北新報出版センターまで。

発行 河北新報出版センター

〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-2-28 https://www.kahoku-books.co.jp/
TEL022-214-3811 (9:30～17:30 土日祝除く) FAX022-227-7666

河北新報配達地域にお住まいの方が、河北新報販売店または出版センターに弊社の本をお申し込みの場合、ご自宅や職場に配達致します。配送料無料(ただし、一部に配達できない地域もあります)。